



※このニュースは下記のクラブに配布しています
東商記者クラブ、日本旅行記者クラブ、レジャー記者クラブ

ずぶ濡れになって気分爽快💦

「スプラッシュバンデット2025」

ひんやり涼しく楽しめるお化け屋敷は新ストーリーがスタート！

2025年7月7日
株式会社よみうりランド

遊園地「よみうりランド」は、7月12日(土)～8月31日(日)の期間、よみうりランド人気NO.1コースター「バンデット」で「気分爽快!! ずぶ濡れコースター『スプラッシュバンデット2025』」を実施します。今年もウォーターキャノンの大放出に加えて、新しく登場する「スプラッシュトンネル」など計5箇所にスプラッシュポイントを設置しました。昨年より一層ずぶ濡れになって楽しめます。

同日からは他にも涼しさ感じる夏イベントを多数開催します。空中ブランコ「ミルキーウェイ」ではウォーターキャノンを使用した初のずぶ濡れイベントを行います。またお化け屋敷ひゅ～どろでは新ストーリー「死綴日記^{しのでにつぎ}」がスタート。日記をテーマに背筋が凍るほどのひんやり体験をお届けします。暑い夏にぴったりのずぶ濡れ&ひんやりイベントで今年の夏を存分に満喫してください。



貸出画像「スプラッシュバンデット2025」



貸出画像
「スプラッシュミルキーウェイ(イメージ)」



貸出画像
「お化け屋敷ひゅ～どろ『死綴日記』」

▼報道関係のお問合せ先 株式会社よみうりランド 法務広報部 小林・金田

〒206-8566 東京都稲城市矢野口4015-1 TEL 044-966-9565(直通) FAX 044-966-1363 メール kouho@yomiuriland.co.jp

報道関係以外の方は遊園地よみうりランド総合窓口へお問い合わせください。 TEL044-966-1111(遊園地営業時間内)

株式会社よみうりランド

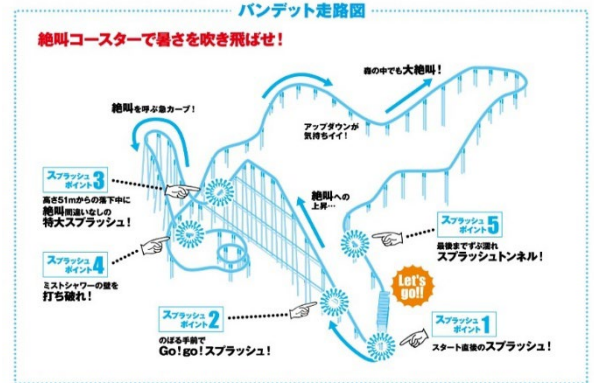
遊びを、まん中に。

スプラッシュバンデット2025 開催概要

- [名称] 気分爽快！！ずぶ濡れコースター「スプラッシュバンデット2025」
 [期間] 7月12日(土)～8月31日(日)
 [場所] バンデット
 [料金] 1人1回1,000円 ※各種パス利用可
 [利用制限] 身長120cm以上+小学生以上
 ※期間中、濡れないバンデットと交互に運行します。
 ※営業時間やイベントの詳細は公式サイトをご確認ください
 <URL><https://www.yomiuriland.com/event/splashbandit2025/>



貸出画像「スプラッシュバンデット(昨年の様子)」



貸出画像「スプラッシュバンデット2025走路図」

スプラッシュミルキーウェイ ～ひんやり流星群 君に直撃～ 開催概要

- ウォーターキャノンを2基設置し、運転に合わせて客席に放水します。
 [名称] スプラッシュミルキーウェイ ～ひんやり流星群 君に直撃～
 [期間] 7月12日(土)～8月31日(日)
 [場所] ミルキーウェイ
 [料金] 1人1回400円 ※各種パス利用可
 [利用制限] シングルシート身長120cm以上、ペアシート身長100cm以上
 ※ペアシートは身長120cm未満の場合、要18歳以上の付添
 ※期間中、濡れないミルキーウェイと時間を分けて運行します。



貸出画像「スプラッシュミルキーウェイ(イメージ)」

お化け屋敷ひゅ〜どろ「死綴日記」 開催概要

日記をテーマにした「死綴日記」というストーリー。日記というのは思いや出来事を綴り、いわば心を可視化したものではないでしょうか。だれかの日記を読むことは、相手の心の中を見ること。そんなところに焦点を当てたストーリーになっています。期間限定で、恐怖増量バージョンをお届けします。どんな恐怖が襲い掛かるかは、入ってからの楽しみ。

[名称] お化け屋敷ひゅ〜どろ「死綴日記」

[期間] 7月12日(土)～

○恐怖増量バージョン

8月2日(土)、3日(日)、7日(木)～24日(日)、30日(土)、31日(日) 計22日間

[場所] お化け屋敷ひゅ〜どろ

[料金] 1人1回400円 ※各種パス利用可

[利用制限] 5歳未満の方は中学生以上の方とご利用ください。



貸出画像「お化け屋敷ひゅ〜どろ『死綴日記』」

【ストーリー】

ふと立ち寄った古書店で見つけた1冊の日記。

なぜ日記がこんなところに…

死について。

そう書かれた日記を読んでいくと、どうやら亡くなった女性の日記のようだ。

死への恐怖から次第に、人の恨みへと変わっていくその日記が気味悪い。

「読んでしまいましたか。」ぼそっと古書店の主人がつぶやいた。

「その日記は呪われた日記。読んだ方はなぜか消息不明になるんです。

私も恐ろしくて何度も捨てたのですが、ここに帰ってきてしまうんです。」

日記を手にしたことを後悔した。自分も呪われてしまうのだろうか。

主人は日記を手にとり、こう続けた。

「ひとつだけあなたを守る方法があるかもしれない。

この日記はある屋敷から持ち出されたものだそう。

そこに返すことが出来ればこの日記の呪いは解けるかもしれない。」

※価格は全て税込

※他にも夏にぴったりのずぶ濡れ&ひんやりイベントを多数開催します。

詳細は公式サイトをご確認ください。

<URL><https://www.yomiuriland.com/event/splashbandit2025/>